

足元

清瀬中学校の春を告げる校庭は、多くの色で賑わいます。校庭の西側は桜色にて新入生を歓迎してくれました。4月当初の雨をしのいだのです。その足元には黄色の花が散りばめられています。タンポポです。陽の光を浴びて、黄色がより深くなっています。太陽と大地のエネルギーを感じる

時です。道路側の塀に沿って、昨年度植えたチューリップが見頃です。黄・白・赤・薄紅その間にムスカリの青が映えます。

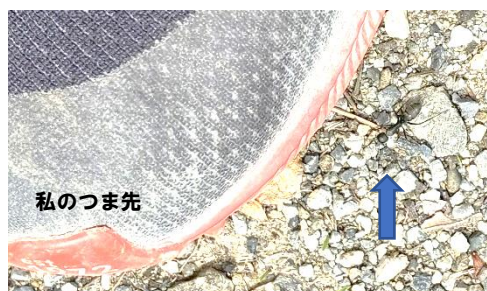


植物だけが春を伝えるわけではありません。気温が



15℃を越えると、アリの活動が活発になります。足元をみるといくつもアリの巣を発見することができました。アリは小さなからだでも大地に穴をあけていく。つまり、大地より大きな存在なのか。これまた

エネルギーを感じます。しかし、巣はあるのに姿が無い。辺りを見回していると、何だか、スネあたりが、くすぐったくなってきました。慌てて、スラックスの裾を上げてみると、『足にアリ!』が這いまわっているではありませんか。迷えるアリをつまみ、大地へと戻しました。



始業式前に校歌の練習をしていました。音楽科が指示を出します。その指示は、

発声練習を皮切りに、口の開け方や姿勢まで細部にわたります。

「足を肩幅に開き、胸を張り、目線を上げる。声を遠くに飛ばすように!」曰く、足元を固めなければ、素敵な歌声を発することはできないと。



タンポポは生命力が強く、抜いても根の一部が残っていれば、再生します。根を掘り出してみれば分かりますが、地中深くまで伸びています。深い時で2~3mになることも。いよいよ令和8年度が始まりました。一学期は、タンポポのように大地に根を這わせ、足元を固めていくこととなります。足元を固めるから高い目標を定め目線を上げられる。足元を固めるから想いを遠くに飛ばせる。その想いや目標達成のために生徒はたとえ失敗しても、原因を分析して、またチャレンジする。タンポポの再生力を手本に。

ポイントは、

足に有り! ということ。